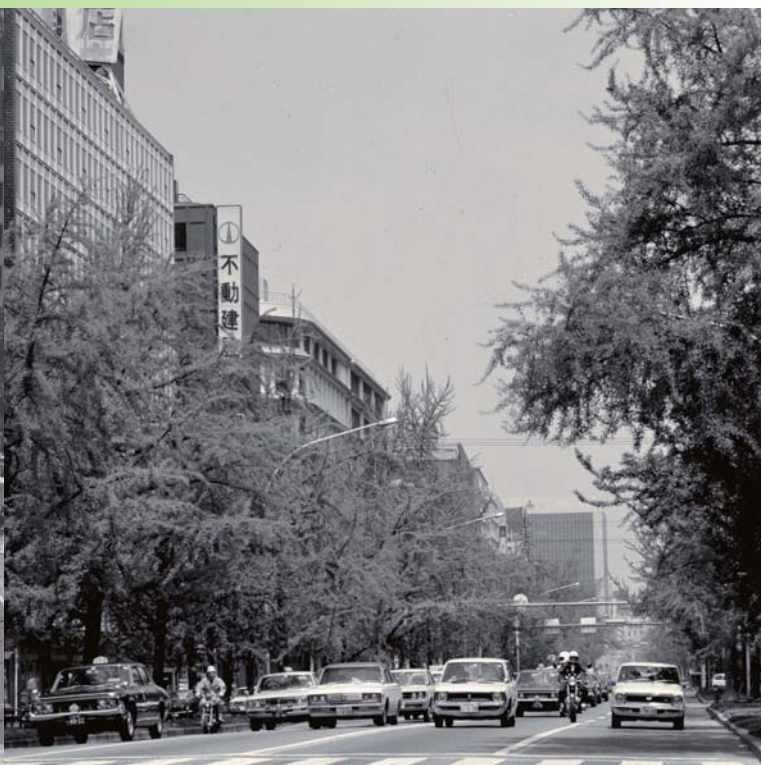


御堂筋の歴史 完成～現在



(写真) 昭和 40 年頃：対面通行だった頃の御堂筋
写真出典：大阪歴史博物館



(写真) 昭和 52 年頃
写真出典：大阪歴史博物館

戦後～高度経済成長を支える御堂筋

- 開通当初はのどかであった御堂筋も、交通量の増加と時代の流れによって慌ただしさを覚えてきます。
- 特に太平洋戦争は御堂筋のみならず、大阪の街全体に大きな被害をもたらしました。大阪の街を爆弾の雨で黒く覆った大阪大空襲。御堂筋の沿道には近代的なビルもありましたが、大半の建物がまだ木造で、空襲により全焼する家屋も少なくありませんでした。しかし御堂筋は、奇跡的なことに道や地下鉄、街路樹がともに無事だったのです。そして、復興に懸ける市民たちの大きな心の支えとなっていきます。
- 時代は高度経済成長期を迎え、賑わいと活気を取り戻し始めた大阪の街と御堂筋。昭和 33 年には建設大臣の直轄管理となり国道の指定を受けます。昭和 40 年頃は空前のマイカーブーム。広大な道幅を誇る御堂筋にも混雑が目立ち始めます。そして、昭和 45 年には南向き一方通行となり、現在の御堂筋に近い姿になります。

公民連携

御堂筋彫刻ストリート

- 御堂筋を文化の香る風格のある道とするため、1992 年から、沿道企業の寄付により、29 体の彫刻作品が設置されました。いちよう並木の中にロダンや高村光太郎などの著名彫刻家の作品が並び、御堂筋を歩く人が楽しめるようになりました。



御堂筋完成80周年記念事業 2017

世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ。

詳しくは御堂筋完成80周年のホームページをご覧ください。

<https://mido-suji80.info/>

